

猪苗代湖産ワカサギ親魚からの採卵可能量の推定

福島県内水面水産試験場 調査部

1 部門名

水産業－内水面（増養殖）－内水面漁業

2 担当者名

舟木優斗、寺本 航

3 要旨

猪苗代湖にはワカサギが生息しているが、未利用資源であるため有効活用の要望がある。そこで、隣接するワカサギ漁場である秋元湖への卵導入による有効活用を検討するため、漁業協同組合所有の定置網を用いたワカサギ試験採捕を実施した。その結果、推定採卵量が少ないため現段階での実現性は低く、活用には産卵実態に合わせた採捕等を検討する必要性が示唆された。

- (1) 調査は猪苗代湖北岸に位置する高橋川河口で、産卵のため接岸するワカサギを漁協が設置した定置網で採集した。定置網は2019年3月下旬から5月上旬にかけて設置し、5回採集を行った。
- (2) 採集したワカサギの一部を抽出し、計数と魚体精密測定を行い、全体の採集尾数を求めたところ約800尾で、うちメスが約380尾と推定された。
- (3) 魚体重あたりの卵巣重量の割合と上記の推定採集尾数から採卵量を推定したところ、約82.5万粒だった（卵1gあたり3,200粒）。これは2018年度における秋元湖のワカサギ放流実績量の50分の1程度であった。
- (4) 有効活用には、産卵期や産卵場に合わせた採捕の検討、さらには猪苗代湖内の資源量推定を把握する必要性が示唆された。

表1 ワカサギ親魚の推定採集量

	オス平均 体重(g)	メス平均 体重(g)	オス比率 *	メス比率 *	オス推定量 (kg)**	メス推定量 (kg)**	オス推定 尾数 (尾)	メス推定 尾数 (尾)	全体推定量 (kg)	全体推定 尾数 (尾)
3月28日	5.18	5.89	54.3%	45.7%	0.49	0.47	95	80	0.96	175
4月1日	4.95	5.53	66.7%	33.3%	0.64	0.36	129	65	1.00	194
4月8日	3.93	3.65	45.9%	54.1%	0.33	0.37	84	101	0.70	185
4月15日	4.28	4.09	47.4%	52.6%	0.19	0.20	44	49	0.39	93
5月14日	3.22	2.97	44.8%	55.2%	0.21	0.24	75	81	0.45	156
合計	—	—	—	—	1.86	1.64	427	376	3.5	803

*雌雄不明の個体は除く **平均体重(g) × 採集された個体数 × 100 ÷ 全体量に対する採集した割合(%)で求めた。

4 成果を得た課題名

- (1) 研究期間 平成28年～令和2年度
- (2) 研究課題名 内水面重要水産資源の増殖技術の開発

5 主な参考文献・資料